

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜聾学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月29日(水) 9:30~11:30
- 3 開催場所 岐阜聾学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	村瀬 忍	岐阜大学 教授
副 会 長	山村 基翔	岐阜県聴覚障害者協会 理事
委 員	岩田 順治	岐阜市社会福祉協議会 加納東支部 支部長 (書面参加)
	尾木 大	株式会社岐阜セラック製造所 取締役社長
	棚原 美歌	加納東地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員
	藤井佐由美	加納幼稚園 園長 (書面参加)
	井戸才二郎	本校同窓会 理事
	吉村 久美	本校PTA会長
学 校 側	長瀬さゆり	校長
	立川 茂	教頭
	駒月 良美	事務部長
	岩田 浩子	幼稚部主事
	高田亜希子	小学部主事
	今枝みどり	中学部主事
	三橋 正康	高等部主事
	樋口さおり	教務主任
- 5 会議の概要(協議事項)
 - (1) 校長挨拶
 - ・学校運営協議会の設置及び運営について
 - (2) 学校運営協議会委員の委嘱
 - (3) 自己紹介
 - (4) 会長及び副会長の選出
 - ・会 長 岐阜大学教授
 - ・副会長 岐阜県聴覚障害者協会 理事
 - (5) 授業参観
 - ・2つのグループに分かれて見学
 - (6) 学校経営計画について
 - ①本校の教育目標、本校の組織編制、教育課程、年間行事計画
 - ②各部の教育方針及び今年度の課題

6 意見交換

<取り組む内容について>

意見1：取組みの内容は、的確である。障がいのある児童生徒の人間形成・社会順応の指導にあたる先生方は、大変なことと思う。そのための専門性の向上に向け、自己研鑽に努められていると思うが、更に校内外の研修への積極的な参加や学校としての環境作りを期待したい。

<幼稚部の取組について>

意見2：幼稚部の課題として挙げられている内容はどこの園においても同じである。幼稚園との交流の中で、社会性を高められるとよい。

意見3：幼稚部の保護者のニーズに合った学習は、どのような内容をどれぐらいの割合で行っているのか。

⇒年間6回学習会を実施。学習会の後に交流会を行っている。

意見4：子どもにとって遊びとは何であるかを深く考えながら、子供を真ん中に置いた行事の見直しや、遊びの追求について学ばせていただけたらと思います。

<校内の安全対策について>

意見5：怪我防止のため、廊下や階段に上り下りの区分けを付けた方がよいのではないかと。また、固定されていない柵は耐震対策をするとよい。

<図書室について>

意見6：図書室はあるか。

⇒幼稚部はプレイルームの一角に図書のコーナーがある。本館2階（小学部対象）と3階（中学部・高等部対象）に図書室がある。東校舎2階に高等部生徒対象の図書コーナーがある。

<防犯・防災について>

意見7：児童生徒に危険を知らせるためのアラートみたいなものが必要。フラッシュライトだけでは詳細が分からないので、字幕で何が危ないのかを知らせることができるとよい。

⇒お金がかかることなので事務と相談し、今後校舎の改修に合わせ、3色ライトの設置を検討している。

<授業中の指導・支援について>

意見8：生徒が1名の授業の時、内容が伝わるように教師の立ち位置を工夫するとよい。

意見9：児童が発表する時に手話を付けずに話している。他の児童が何を言っているか分からないという様子だったので、教師による補足があるとよい。

意見10：プロジェクター画面を指差しながら話す場面が多かった。もっと手話や指文字を使って話す場面が増えるとよい。

⇒発表の場を学習内で設定し、自分の思いや考えを表現・表出できるよう取り組む。

<聾学校の在り方に関して>

意見11：保護者が自分の子ども将来像を見ることができるよう学校全体を見られるような参観日を設けるとよい。

⇒年間3回の参観日がある。他の部にも参観できるよう周知している。

意見12：インクルーシブ教育が進むことで、自分の地域の学校に通う子どもが更に増えるかもしれない。聾学校として進んでいく方向性を考えるとよい。社会の中で聾学校をどう位置付けていくかを考える時期にきているのではないかと。

7 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・委員の意見を反映し、今年度重点的に取り組む内容について校内で検討し、実践に生かす。
- ・学校全体の運営に当たり、常に見直しを行いながら、幼児児童生徒の言語力の育成や、将来を見据えた自立につながる指導・支援に全職員で取り組む。